

第3次日野市環境基本計画 施策体系図



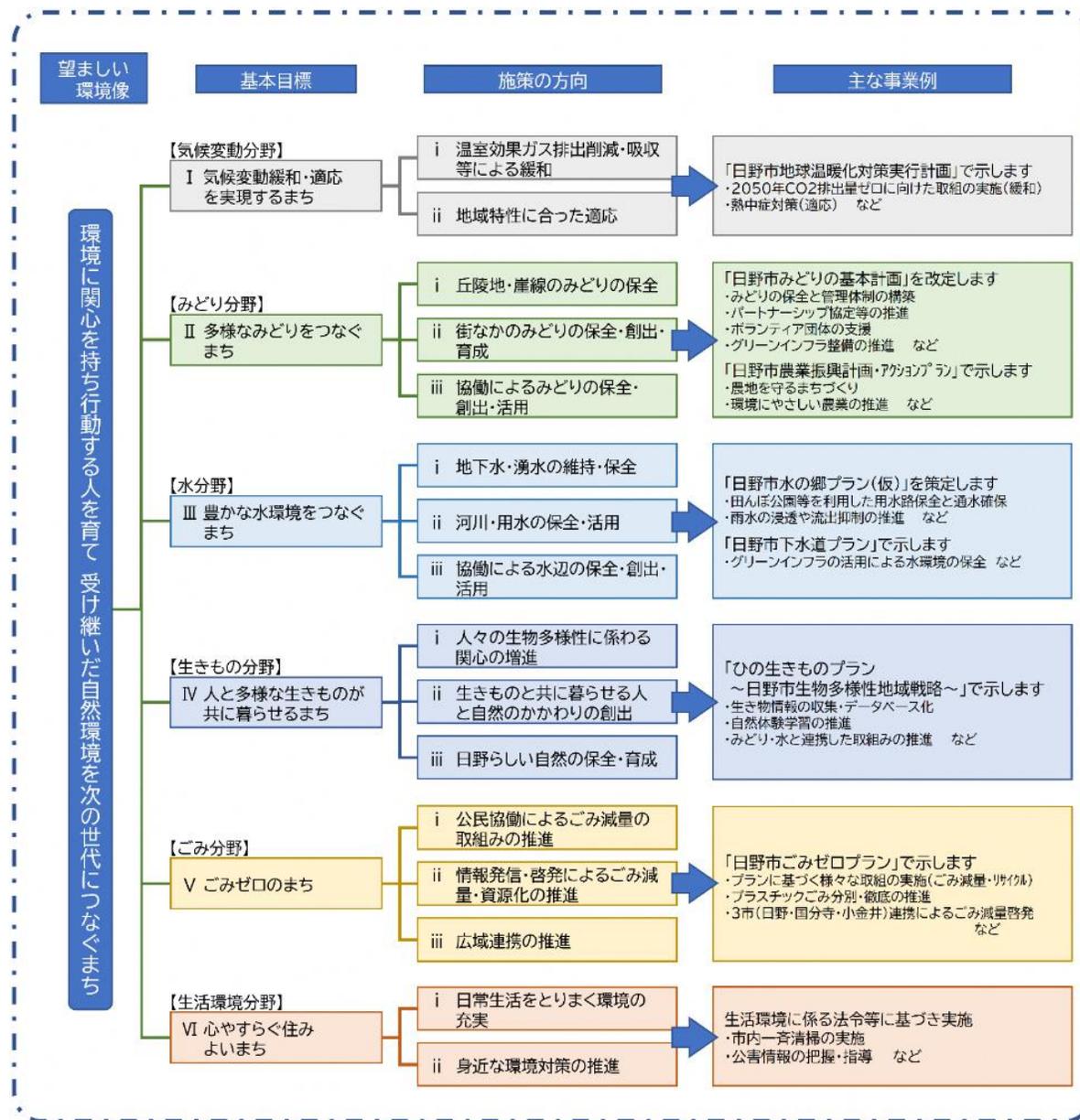
基本理念

自然豊かで環境負荷の少ない社会を実現し、
将来の世代に継承する

望ましい環境像

環境に関心を持ち行動する人を育て
受け継いだ自然環境を次の世代につなぐまち

6つの分野別に基本目標を設定し、実現に向けて
「施策の方向」を示しています。



I 基本目標:気候変動緩和・適応を実現するまち

関連計画	第4期 地球温暖化対策実行計画 (第3期 環境基本計画)
計画の概要	地球温暖化対策の推進に関する法律第21条、及び気候変動適応法第4条に基づき、令和3年度に策定した計画。地球温暖化対策に関する目標や実施する措置の内容、その他計画の実施に必要な事項を定めるもの。 日野市地球温暖化対策実行計画の目標として、2030年度に-46%、2050年に排出量実質ゼロを目指す事としている。 (ともに05年比)
施策の方向	i 温室効果ガス排出削減・吸収等による緩和 ii 地域特性に合った適応

i 温室効果ガス排出削減・吸収等による緩和

令和6年度の取り組み

- ・市役所本庁舎等高圧45件・日野市立図書館その他公共施設低圧90件、合計135件の契約で実質再生可能エネルギー100%の電力を導入。
- ・気候変動対策施策ロードマップを策定
- ・日野市省エネ家電買換え促進補助金事業を実施。約24,000kg-CO₂の削減に貢献。
- ・日野市と多摩市合同気候市民会議を実施。広域での気候変動対策を検討。

短期課題 (直近、3～5年視点)

地域脱炭素に向けた計画(地球温暖化対策実行計画・気候変動対策施策ロードマップ等)の見直し・実行

長期課題 (10～20年視点)

2030年CO₂マイナス46%、2050年CO₂実質排出ゼロの実現に向けたマネジメント
※特に家庭部門におけるCO₂削減

令和7年度の取り組み (予定)

- ・啓発活動の強化(ラッピングバスシート作成・広報の環境特集作成)
- ・気候変動対策施策ロードマップに基づいたCO₂削減施策

ii 地域特性に合った適応

令和6年度の取り組み

・「熱中症特別警戒アラート」が発令された際に、一時的に暑さをしのげる場所として開放される施設として、クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)36カ所を指定。発令の有無に関わらず共用スペースを「涼み処」として利用可能とした。

短期課題
(直近、3～5年視点)

・地域特性に合った計画(地球温暖化対策実行計画・ロードマップ等)の見直し・実行
・毎年の記録的な酷暑対応

長期課題
(10～20年視点)

変化していく地域・気候に合わせた適応策の検討

令和7年度の取り組み
(予定)

・引き続きクーリングシェルター事業を実施し、指定施設の拡大を推進
・熱中症活動の啓発・広報活動を実施し、「適応」視点の施策強化

基本目標:多様なみどりをつなぐまち

関連計画	日野市みどりの基本計画
計画の概要	市民と関わりの深い市内の様々な「みどりと水」をこれからどのように守り、育てていくのかを定めた法定計画であり、主にみどりの現状やみどりに対する市民ニーズを踏まえ、「緑地の保全及び緑化等の目標」、「緑地の保全及び緑化の推進等の施策」を示し、総合的かつ計画的に実施するもの。
施策の方向	i 丘陵地・崖線のみどりの保全 ii 街なかのみどりの保全・創出・育成 iii 協働によるみどりの保全・創出・活用

関連計画	日野市農業振興計画・アクションプラン
計画の概要	農業施策を総合的かつ計画的に推進するため、日野市が目指す農業振興の方向性と今後の施策展開を示すもの。
施策の方向	ii 街なかのみどりの保全・創出・育成

i 丘陵地・崖線のみどりの保全

令和6年度の取り組み

・ナラ枯れ病の動向に引き続き注視した上で調査を行い、優先度を考慮しつつ適切に対応

短期課題
(直近、3～5年視点)

・ナラ枯れ病の被害

長期課題
(10～20年視点)

・樹木の老木化、大木化などに伴う緑地の管理財源の確保

令和7年度の取り組み
(予定)

・昨年の落枝事故を受け、市内公園、緑地の緊急点検を行い、枯損木や枯れ枝がある樹木を中心に人通りが多いエリアなど優先順位を付け、6年度に引き続き、剪定、伐採作業を実施する
・ナラ枯れ病の動向に引き続き注視した上で調査を行い、優先度を考慮しつつ令和7年度も継続して伐採作業を実施する

ii街なかのみどりの保全・創出・育成(日野市みどりの基本計画)

令和6年度の取り組み

・ウェルカムツリー等植栽補助制度が令和5年度(2023年度)で事業終了

短期課題
(直近、3～5年視点)

・イニシャルコスト、ランニングコストの検証

長期課題
(10～20年視点)

・管理財源の確保

令和7年度の取り組み
(予定)

・ウェルカムツリー等植栽補助制度に代わる新しい取り組みの考案

ii街なかのみどりの保全・創出・育成(日野市農業振興計画)

令和6年度の取り組み

・農の学校をはじめ、援農ボランティア育成事業の継続及び充実

短期課題
(直近、3～5年視点)

・援農ボランティア制度の見直し

長期課題
(10～20年視点)

・環境保全型農業の推進

令和7年度の取り組み
(予定)

・「農の学校」の制度について関係者会議を開催(年4回)。持続可能な仕組みとなるよう検討を実施

iii協働によるみどりの保全・創出・活用

令和6年度の取り組み

・日野市における「雑木林ボランティア」として活躍する人材を育成

短期課題
(直近、3～5年視点)

・ボランティア団体との連携及び支援の強化

長期課題
(10～20年視点)

・ボランティア団体の高齢化

令和7年度の取り組み
(予定)

・雑木林ボランティア講座を通じて令和7年度も継続して日野市の雑木林で活躍できる人材の育成を目指していく

基本目標:豊かな水環境をつなぐまち

関連計画・根拠	日野市清流保全—湧水・地下水の回復と河川・用水の保全—に関する条例
考え方	市内の日野台地の崖線や多摩丘陵の裾部には多くの湧水点があり、豊かな水環境を構成しています。みどり同様このような空間は、非常に重要な環境要素であり、これらの維持保全に取り組みます。
施策の方向	i 地下水・湧水の維持・保全 ii 河川・用水の保全・活用 iii 協働による水辺の保全・創出・活用

関連計画・根拠	日野市下水道プラン
計画の概要	・公共下水道(汚水)の普及率を高め、公共水域の水質の改善を図る ・グリーンインフラの取り組みを促進し浅川の流量や地下水・湧水の維持保全を図る
施策の方向	ii 河川・用水の保全・活用

i 地下水・湧水の維持・保全

令和6年度の取り組み

・市内の水収支の実態や、重要箇所における降水量と湧水量の関係、湧水周辺の生態系などを調査

短期課題
(直近、3～5年視点)

・市内の湧水調査を実施しているが、広報活動や水循環に寄与する方策へデータを活用できていない

長期課題
(10～20年視点)

・区画整理や宅地化によって、植物が減ることによる地下水の減少

令和7年度の取り組み
(予定)

・市内の水収支の実態や、重要箇所における降水量と湧水量の関係、湧水周辺の生態系などを調査する。調査結果をもとに、地下水かん養、水辺の環境保全から水利用、治水までを含めた水循環に寄与する方策を検討する

ii 河川・用水の保全・活用(日野市清流保全条例)

令和6年度の取り組み

・多摩川・浅川クリーン作戦の実施、約1,500名の参加

短期課題
(直近、3～5年視点)

現場作業員やボランティアの高齢化や人手不足

長期課題
(10～20年視点)

現場作業員やボランティアの高齢化や人手不足

令和7年度の取り組み
(予定)

・多摩川・浅川クリーン作戦などの実施により、河川敷の美化・保全活動を行うことでマナーアップの向上を図る
・多摩川クリーン愛好会など河川敷の美化・保全活動を行なっている団体や個人へ支援を行う

ii 河川・用水の保全・活用(日野市下水道プラン)

令和6年度の取り組み

・污水管整備工事284m実施予定

短期課題
(直近、3～5年視点)

令和7年度までの目標値として下水道処理人口普及率97.1%
接続率を98.7%と定めているが未整備エリアの大部分が区画整理区域内のため、目標の達成は、区画整理事業の進捗状況に大きな影響を受ける

長期課題
(10～20年視点)

令和12年度までの目標値として下水道処理人口普及率を98.1%
接続率を98.9%と定めているが未整備エリアの大部分が区画整理区域内のため、目標の達成は、区画整理事業の進捗状況に大きな影響を受ける

令和7年度の取り組み
(予定)

・污水管整備工事870.2m実施予定
・令和7年度実施予定の「下水道プラン」中間検証においてグリーンインフラの取り組み進捗状況の検証を行う。

iii協働による水辺の保全・創出・活用

令和6年度の取り組み

・流域連携による水源かん養の活動や、水辺づくりなどを通じた啓発活動を推進する

短期課題
(直近、3～5年視点)

・水辺の楽校及び水辺のある風景日野50選ガイドツアーが今後も継続実施できるよう、指導者の確保

長期課題
(10～20年視点)

・水辺の楽校及び水辺のある風景日野50選ガイドツアーが今後も継続実施できるよう、指導者の確保

令和7年度の取り組み
(予定)

・流域連携による水源かん養の活動や、水辺づくりなどを通じた啓発活動を推進する
・写真コンクールの応募者のすそ野を広げるため、SNS等を活用し、応募者を増加させる取り組みを検討する

基本目標:人と多様な生きものが共に暮らせるまち

関連計画	ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～
計画の概要	「みどりと清流のまち ひの」を持続可能なまちづくりの根幹に据え、将来にわたる日野市の目指すべき生物多様性の姿と、それを実現するための具体的な取組を示したもの
施策の方向	i 人々の生物多様性に係わる関心の増進 ii 生きものと共に暮らせる人と自然のかかわりの創出 iii 日野らしい自然の保全・育成

人々の生物多様性に係わる関心の増進

令和6年度の取り組み

【親水イベント】

・熱中症リスクに対応するため、開催時期やイベント実施基準の見直しを行い、安心安全なイベント開催を目指した。また、高齢化が進む漁協の体制等を踏まえ、開催規模も見直し、安全面でのリスク回避も図った。

【カワセミハウス】

- ・カワセミハウスが主体となり、展示、セミナーなど、日野の自然環境の素晴らしさ、面白さに興味を持つ人を増やすため地道に取り組む
- ・カワセミハウス企画展「日野の植物たち」「日野の野鳥たち」(予定)開催
- ・カワセミハウス協議会環境分科会の活動

短期課題 (直近、3～5年視点)

- ・猛暑日増加の影響による熱中症対策や開催時期の見直し
- ・市民団体との連携強化
- ・日野の豊かな自然に興味を持つ市民の掘り起こし

長期課題 (10～20年視点)

- ・地球温暖化による魚の減少
- ・「カワセミハウス」を長期運営していく人員の確保
- ・市民一人一人が自分で関心が持てる自然に対し行動ができる情勢形成

令和7年度の取り組み (予定)

【親水イベント】

・引き続き、熱中症対策含め、安心安全なイベントとするため、規模の適正化と開催時期の見直しを行う

【カワセミハウス】

・カワセミハウスでの展示、セミナーを工夫を加えながら取り組んでいく

ii 生きものと共に暮らせる人と自然のかかわりの創出

令和6年度の取り組み

- ・水とみどりを守る意識を持った人材を育成するため、市民講座を行った
- ・市民環境大学(前期8回 後期12回) 黒川マイスター講座(全11回)開催

短期課題 (直近、3～5年視点)

- ・環境保全を担う人材の高齢化
- ・日野の豊かな自然に興味を持つ市民を増やす

長期課題 (10～20年視点)

- ・日常的に手を入れてくれる人材の確保
- ・市民一人一人が自分で関心が持てる自然に対し行動ができる

令和7年度の取り組み (予定)

- ・市民環境大学、黒川マイスター講座を継続して開催する

iii 日野らしい自然の保全・育成

令和6年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・現状の植生の生育状況を踏まえ、植物に適した環境を見極め・カワセミハウス協議会主催で「オオブタクサ引抜大作戦」開催・カワセミハウス敷地内に柑橘類の植樹、ウマノスズクサの育成を行った
短期課題 (直近、3～5年視点)	<ul style="list-style-type: none">・地域の生きものや植生との整合性・日野の豊かな自然に興味を持つ市民を増やす
長期課題 (10～20年視点)	<ul style="list-style-type: none">・より「人と多様な生きものが共に暮らせる(主流化※1)」という目標に近づけた位置づけの検討・市民一人一人が自分で関心が持てる自然に対し行動ができる
令和7年度の取り組み (予定)	<ul style="list-style-type: none">・ひの生き物プランの中間改定・参加ボランティアの募集・取り組み趣旨の伝達など、引き続き啓発に努める・カワセミハウス協議会での「オオブタクサ引抜大作戦」を引き続き行う

※1
生物多様性の保全と持続可能な利用を、日常生活を含む社会経済活動に組み込むこと



基本目標:ごみゼロのまち

関連計画	日野市ごみゼロプラン
計画の概要	「ごみゼロ社会」の実現に向けて、多様化する廃棄物の資源化や、さらなるごみ減量のための施策及び取組を示した計画
施策の方向	<ul style="list-style-type: none">i 公民協働によるごみ減量の取り組みの推進ii 情報発信・啓発によるごみ減量・資源化の推進iii 広域連携の推進

i 公民協働によるごみ減量の取り組みの推進

令和6年度の取り組み

・ごみ排出量最少自治体を維持するため、引き続き広報、情報誌、アプリ等を活用して市民への発信・啓発を継続・強化

短期課題
(直近、3～5年視点)

・公民協働によるごみ減量への新たな取組を検討

長期課題
(10～20年視点)

・資源循環型社会の形成

令和7年度の取り組み
(予定)

・更なるごみ減量に向け、「広報ひの」「ごみ情報誌エコー」「ごみ分別アプリ」「市公式HP・LINE」等のあらゆる情報手段の活用により、市民への啓発を継続していく。

ii 情報発信・啓発によるごみ減量・資源化の推進

令和6年度の取り組み

・市内小学校17校施設見学実施

短期課題
(直近、3～5年視点)

・ごみ減量・資源化意識の啓発について、継続・強化していく必要がある

長期課題
(10～20年視点)

・ごみの更なる減量に向けた新たな取組

令和7年度の取り組み
(予定)

・更なるごみ減量に向け、市内小学校17校の小学4年生による施設見学、幼稚園・保育園への出前授業、施設見学イベント等により、環境学習の観点から子どもたちへの意識啓発を継続・強化していく

iii 広域連携の推進

令和6年度の取り組み

・令和5年度に作成した冊子や、食品ロス意識調査(アンケート)の結果を活用し、可燃ごみの共同処理を行う日野市・国分寺市・小金井市の3市により、さらなるごみ量の削減を推進

短期課題
(直近、3～5年視点)

・3市連携による更なるごみの減量

長期課題
(10～20年視点)

・資源循環型社会の形成

令和7年度の取り組み
(予定)

・可燃ごみの共同処理を行う日野市・国分寺市・小金井市の3市による市民会議が設置されている。可燃ごみは厨芥ごみが占める割合が大きいことから、この市民会議の中で「厨芥ごみ減量」に向けたテーマを設定し、具体的な情報発信を行うことで、更なるごみ減量を推進していく

基本目標:心やすらぐ住みよいまち

事業根拠	生活環境に係る法令等
考え方	市民が健康で快適に過ごせる、心やすらぐ生活を確保するために、一人ひとりのマナー向上に向けた啓発等の取組み推進 身近な環境問題については、引き続き監視を続けるとともに情報収集を行い、市民生活のリスクの低減に努める。
施策の方向	i 日常生活を取り巻く環境の充実 ii 身近な環境対策の推進

i 日常生活をとりまく環境の充実

令和6年度の取り組み

- ・「日野市路上喫煙禁止条例」の制定
- ・日野駅東口広場に喫煙所の開設
- ・「日野駅周辺路上喫煙禁止地区」内における路面標示の設置

令和6年度の課題

- ・豊田駅・高幡不動駅における喫煙所の整備、禁止地区の指定

ii 身近な環境対策の推進

令和6年度の取り組み

大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、土壌汚染等の関係法令に基づく指導、道路交通・工場・事業場・店舗や航空機などからの騒音や振動などの状況の調査や監視、それら公害分野における相談受付

令和6年度の課題

公害状況調査においては、基準値を満たしていたため、引き続き状況を注視していく。
公害苦情相談においては、匿名苦情による相談内容の過激化や事実確認の困難さが課題となっているため、匿名苦情への対策が必要となる。